



全大教青年交流集会に参加してきました(5)



一日目 企画社会見学(3)

青葉城半ばで終わった前号、これからが仙台の歴史を学ぶ絶好の場所なんだけど、あいにく写真撮影は御法度なよね。そんで行ってきたのが「仙台市博物館」、時代の流れに沿って旧石器時代から昭和の時代まで、様々な展示品があり、どれも仙台の歴史を語るのに欠かせない逸品ばかりでした。なかでも光寺磨崖仏のレプリカがあり、中に入ってみるとなんと空気も重く静かな世界に思わず身震っちゃいました。写真がないので仙台市博物館がどんなところか知りたい方は下記アドレスへクリック!!クリック!!

<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/index.html> 仙台博物館ホームページ

知っ得情報??

青葉城って山の上にあるお城なのね。そんなもんだから道は坂ばかり。またこの坂が急なわけさ。ほいでもって今回の仙台市博物館ってだいぶ下ったところにあるんだけど、行くときにそれを実感したね。体重を後ろにかけて下っていく。特に女の子は注意しな。ヒールの高いやつ履いていくと苦勞するぞ。たとえばヒールが 30°、坂の傾斜も 30°としてみ、あわせて 60°になっちゃうんだぜ。これってほとんど「つま先立ち」の状態なんだよ。要するにつま先でブレーキをかけながら歩くというわけさ。今回、京都の子がその状態でさあ、ホント可哀想だったよ。仙台の歴史探訪はぜひ運動靴で。

結局、「人体の不思議展」「青葉城(護国神社、展望台)」「仙台市博物館」と回っただけでも 3 時間ちょい。まだまだ綿密な計画を立て行動すれば、もう少しいるんなところを行けたんだろうけど、まあ、初めて会った仲間と「ああでもない、こうでもない」言いながらぶらりするのもいいもんですな。

そして懇親会場へ・・・

回るところも回ったし、時間も時間なんで会場へ戻りました。途中、公園の中にお相撲さんの銅像が・・・よく見てみると「第四代横綱 谷風」とあるではないですか。1769年初土俵だそうで、1777年から1782年の間、休みを取りながらではあるが、土つかずの 63 連勝だそう。またその当時で身長が 189 センチ、体重 169 キロの超巨人である。感激してオイラもつい一



緒に写真を撮ってしまいました。これがその一枚。# やっぱ凛々しくねえか、谷風が・・・。このあと青年部恒例の大懇親会に突入するのですが、懇親会の模様は今回カットします。次号は「二日目 分科会」をお送りします。

【お詫び】

やまくら～ズ 4 号で「人体の不思議展」の写真を載せたんだけど、Web 版には青くカーテンをかけています。管理者から「リアルすぎてグロくない??」との判断のようです。あっ、今確認したら軽くぼかしてあったぞ!!

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら～ズ 発行 No.6 2006/07/31